

## 団体しようれいしよをとって

至誠館 少路小学校 三年 くま野 風起

さいしよに、ぶとくでんに入ったらきんちよしました。  
こんな場所、えんぶをするのだなと思いました。  
平安神宮でおはらいをうけました。

すぐあつかったので、ねっ中しよになるかと思いました。  
ぶとくでんにもどって水をのんでから、しばらくして十時三十分か  
ら、い合どうが始まりました。それから少し水をのむと、空手が始まっ  
たので、それを見ました。

三番目は、またい合どうでした。そのい合どうは、ぼくたちのワザ  
とは全くちがいました。四番目は、空手でした。自分は、九番目なの

で、まだまださきだなと思いました。  
四番目の空手は、個人と団体のえ  
んぎがあつて長かったです。友だち  
のアクエリアスがなくなつていま  
した。楽しみにしていた昼ごはんの  
べん当がくばられました。くばられ  
たお茶は、にがてだったのでお母さ  
んにあげました。おなかいっぱい  
なつて、やる気が出ました。昼ごはん

んの次は、五番目の空手でした。かつこよかつたので、ぼくもやりた  
いと思いました。六番目は、空手でした。高校生一人なので、他の人  
とあわせないで自分一人でやつていました。すごかつたです。七番目  
は、古ぶ道でした。刀を持って前をしていたので分かりました。八番  
は、合気道でした。このとき客せきの横だったので、すぐきんちよ  
うして団体しようれいしよが取れるかしんばいでした。さいご、後  
ろに下がつたとき、前に行きすぎていたのに気づいたけどおそかつた  
です。後ろから下がれますかと言われたので団体しようれいしよは、  
ムリかなと思つていました。でも、たてとしよじよがもらえてよ  
かつたです。メダルももらえたのでうれしかつたです。たてとしよ  
じよとメダルがもらえてよかつたです。

## ぜん国青少年ぶとくさい

しせいかん 少じ小学校 二年 渡邊 眞子

ぜん国大会で、ほぼみんな「ゴールドメダル」をもらいました。た  
てももらいました。たては、ぜんぶかんむりがついていました。

木のもようの、たてをもらいました。あと、石のもようのたてをも  
らいました。木のはうの金のはつばを作るのは、大へんそうにかんじ  
ました。はつばや、かんむりの作り方がしりたくなりました。

七月二十日が二十一回目の大会とは思いませんでした。「メダル」

をもらったとき、「すごい！うれしい！」と思いました。たては、お兄ちゃんがもらいました。でも、家に帰ると、まだうれしいという気もちがのこっていました。ぜん国大会のとき、ぶじにおわれたのは、かみさまのおかげなんだと思いました。なぜかみさまかというと、ぶじとくでんについて、ぶじおわって、ぶじに家に帰れたからです。かみさまに、本とうにかんしゃしています。古ぶ道をする人は少なかったです。ほぼぜんぶ空手でした。古ぶ道があっても、しせいしかし、たびをはいていませんでした。やるとき、まん中でやるのはドキドキしました。でもぶじに五つやりおわれてよかったです。来年も出たいです。つぎこそひょうしょうじょうをもらえるようにしたいです。それには、れんしゅうがひつようなので、いっばいれんしゅうをして、うまくなつてから、また行きたいです。楽しみです。ドキドキがとまりません。また、先生たちや、ぶとくでんに会えるのを楽しみにしています。つぎこそ、何でもいいからもらいたいです。それまで、いっしょうけんめい、がんばりたいと思います。「ファイト！」



車の中で「上手だったね」とお兄ちゃん、父、母に言われたとき、すぐうれしかったです。本とうに、また友だちと行きたいと思いました。ぜったいがんばります。先生たち見ていてください。おねがいします。

楽しみにしていてください。

## 全国青少年ぶとくさいに さんかして

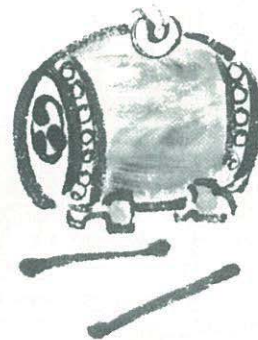
しせいかん

少じ小学校

二年

上の

こうぎ



七月二十日に全国たいかいにさんかしました。さいしよはきんちようしたけどだいじょうぶだよと言ってくれたからあんしんしました。人がいっばいいいたからどきどきしました。

自分のでばんがきてうまくできるかなと思つたのでれんしゅうを思いだしながらやつたらうまくできました。ちがう人を見たらうまくできてたからすごいなと思いました。

校ちよう先生とお父さんと母さんがきてたのでがんばりました。

もつとがんばりたいのでこれからいっばいれんしゅうをします。



## 個人優秀賞を受賞して

正守和道塾 中学二年

芳賀

裕哉

第二十一回全国青少年武徳祭に出場し、今年は選手宣誓と一言大役があったので、とても緊張しましたが、無事終えることができて良かったです。

演武では、道場のリーダーだったので、練習の時からみんながまとまってきたりと声を出したり、演武をそろえられるように何回も頑張りました。

練習の成果が出て「団体奨励賞」と個人でも「個人優秀賞」を頂けてとても嬉しかったです。

これからも心も体も強い人間になれるように練習に励んでいきたいと思っています。



## 全国青少年武徳祭に参加して

正守和道塾

小学六年

近藤

亮太

七月二十日、青少年武徳祭に参加させていただきました。二回目の参加です。今回は、空手を始めたばかりの二年生の弟も一緒でした。だから武徳祭までは、道場でも家でも、弟に教えながら一緒に練習ができました。弟も一生懸命覚えました。少しずつ上手になっていって、弟も自信がついてきました。

当日、平安神宮でご祈祷をしていただき、晴天の空のもと、道場のみんな、指導してくださった先生、親たちと、「礼儀正しく、しっかりと声を出し、元気いっぱいカッコいい演武にしよう!」と心を一つにしました。古く立派な建物で、普段の練習場よりずっと広い旧武徳殿に参加されているどの団体も素晴らしく、少し緊張もしてきました。いよいよ僕たち正守和道塾の出番。小学一年から中学三年までの十五人の心が一つになり、僕もいつもよりものびのびと演武ができたよいうな気がしました。

正守和道塾は団体奨



ひょうしようの時によばれたのはきんちようしたけど、がんばった  
かいをかんじました。メダルをうけとった時、さらにがんばったかい  
をかんじました。

他の人たちも、じゅしようしたときとてもきんちようしていたんだ  
ろうなと思いました。

これからもつとがんばりたいです。

## これから

心傳流柔術 拓心館 小学二年 入野 温爽

どりよくしようをもらえて、  
うれしかったです。  
他の人たちを見ていたら、他  
の人たちみたいに、うまくなり  
たいと思いました。



これからも、ほかの人たちみたいに、がんばります。

ぼくたちも、しっかりできたと思いました。

ぜんいんメダルをもらったから、よくできたと思いました。

## 武徳祭を終えて

武学館 中学一年 久保 範栞

受験勉強のためしばらく稽古ができず、大会にも参加できない期間  
がありました。今回久しぶりに演武祭に参加できました。三種類の  
形演武を行うこととなり、一応全て憶えている形なので、新しく学ぶ  
必要はありませんでしたが、やはり稽古不足のため心配でした。しか  
し自分なりの演武をできるように、今までよりもっと大きく、もっ  
と美しく披露できるように稽古しました。

武徳祭当日は、いろいろな流派の人達がきていてどの演武も素晴ら  
しかったです。後輩達との団体演武は一人のミスがみんなに迷惑がか  
かるので緊張しましたが、それよりも一人での個人演武が一番緊張し  
ました。でも大勢の人達の前でたった一人で演武することはなかな  
かないのでとても良い経験ができたと思います。また、様々な流派や  
武術の演武を見ることができて、とても勉強になりました。

また一年一生懸命に稽古して、来年も武徳殿で演武をすることがで  
きたらいいなと思います。そしてその時はもっともっと素晴らしい演  
武をしたいです。

「最ゆうしゅう賞は、…こばと修童館です。」と言われた時は、びっくりしました。最初は、「ちがう賞かな？」と思っていたけれど、本当に、最ゆうしゅう賞だったので、「すごい。」と思いました。たぶん、一人一人が、がんばっていたからなのかな？と思いました。私は、自分の苦手なところを、直したので、よかったです。

今年は、しつかり、賞をとれたので、来年も続けて、次の人達に、しつかりつなげて行きたいと思いました。

# わたしの青少年武徳祭

こばと修童館 小学五年 向 杏奈

わたしは、本番の前練習のことをおもいだして復習していました。本番になり、練習どおりにいっしょうけんめいがんばりました。自分の中では、もうすこしががんばれたなと思っていました。それに、少しほんいあいの三本目を、まちがってしまったので、ゆう勝できるかしんぱいでした。

それからさいしよは、はじめてで、いくかいかないか、まよってしまつて、でも、わたしはお母さんに「ゆう勝できなくても、じつりよくをみせれば、そんでじゅうぶんだよ」と言われて、わたしは、五年間いあいをならつていたので、ここでみせるときだと思ったことと、初だんをとるための練習になるかなと思つたからです。それにいき

かつた理由は、京都にもいってみたかつたからです。いってみてのかんそうは、まずは、だんたいゆう勝をとれたことで、自分ではゆう勝できるとは思つてもいなかつたので、すごーくうれしかつたです。それから、いってよかつたなと思ひました。

## こばと修童館(小)初V

全国青少年武徳祭団体

二十日に京都市左京区の大宮で、十七歳以下の区の武徳殿が開かれた。全国青少年武徳祭の団体で、小松市上小松町の居合道場「こばと修童館」チームが初めて優勝を果たした。青少年武徳祭は、居合道、空手、合気道など伝統武道の技を競う

査員が採点した。大会には、一週間前に小松市内で合宿を実施して臨んだ。これまでの最高成績だった優勝を越えて初優勝を果たし、特に優れた個人賞には同館から四人が選ばれた。

中田武太郎(小)は「いいところまでいくと思つていたがまさか優勝するとは。今年のチームは協調性が高い」とたたえた。(谷大平) 個人賞の皆さん(数字は学年) 優秀賞 東谷信之介(宮城小6)▽奨励賞 柴田悠希(能美小5)▽努力賞 山崎皓大(第一小6) 沢村奏太(稚松小5)



団体で初優勝を果たしたこばと修童館の選手たち(京都市左京区で) (こばと修童館提供)